



飯山雪国大学 文化講演会のお知らせ

～今だから語れる～大災害・事故報道の裏側

災害は忘れない内にやってくる現代…
防災への備えを喚起される講演です。

講師
東京在住
アナウンサー

日時
3月28日(土) 午後1時30分～

場所
飯山市公民館 2階講堂 (入場無料)

主催・問い合わせ先 飯山市総合学習センター(飯山市公民館) Tel. 62-3342

☆託児申込みのご案内☆

3月25日(水)までに、
ご希望の方はご連絡ください。

人権学習シリーズ

「ノーマライゼーション」…互いに普通に暮らせる地域に

飯山市民生部長 山田 弘一

できました。

保障するものではないためであ

世の中には様々な人がいるのが当たり前(ノーマル)で、傷病や老いや障害などで社会的に弱い立場の人に対してコミュニティから隔離した保護ではなく、コミュニティの中で多くの人と同じように支えあつて共に暮らすことが本来あるべき姿であり、それがノーマライゼーションの理念といわれています。発端は50数年前、北欧の障害者施設の処遇(人権)改善運動に始まり、出来るだけ普通に暮らせるようにと提唱されました。

また、社会的弱者が障壁(バリア)に束縛されずに普通の自由な暮らし易い環境づくりという「バリアフリー」や、年齢・性別・身体機能・能力・文化等の違いに関係なく誰もが同じように利用できる人間本位の「ユニバーサルデザイン」も、次第に普及してきております。ただ、身近な所では、右利き用の製品や道具等(左利き用も大分出回っていましたが…)知らず知らずの意識しない所にも、今後の普及が待たれる事象があることも現実です。物理的なこと、情報や文化的なこと、意識に関わること等総体において、出来るだけユニバーサルに…、難しくても少なくともバリアフリーに…、を基本として地域全体で捉えていくことが大切ではないでしょうか。半面、例えば障害を持つ人に対して可哀想だと一方的に手を差し伸べるのは、上から下への関係に陥り易く前近代的といわれています。それは、必ずしもその人の能力と自由を

これを地域の全ての対人サービスに共通する普遍的原理としながら、今から約60年前の「誰でも人は等しく基本的人権がある」という世界人権宣言の趣旨と、併せて受け止めることの出来る地域を求めて参りたいと思います。

第29回 飯山市民芸術祭

☆ 舞台発表 ☆

◆期 日 4月19日(日)
◆会 場 飯山市民会館ホール(城山)

【参加団体・個人一覧】(2月28日現在)(順不同)

・オカリナサークルせみしぐれ
・オカリナサークル憩吹ーibukiー
・飯山子どもと本をよむ会
・いいやまの元気な仲間たち
・白鳥バレエ学園飯山教室
・ハワイアンフラ/ハイビスカス・アロハすまいる・ハウ



・Twins&Kinta
・コーロ・カメラア
・コーロ・エテルナ
・AQUA aqua
・ル・パルミエ・パ
・奥信濃大正琴連絡会
・しろやま道場
・飯山混声合唱団
・まろうづ
・Mickey
・尺八同好会
・こはる日の会
・東雅洋社中
・祭人・ごーそ
・花房会
・飯山ハーモニカクラブ
・コールかたくり
・女声合唱団フィオーレ
・簡化二十四式太極拳
・飯山市民劇団「土」
・ザ・メイプル
・みゆき野吹奏楽団
・みすじ会
・河藤たつ千代社中
・奈良沢千代藤会
・轟昭二
・小林今朝之
・飯山フォークダンスサークル

☆ 展示発表 ☆

◆期 日 4月11日(土) 12日(日)
◆会 場 飯山市民会館・飯山市美術館

【参加団体・個人一覧】(2月28日現在)(順不同)

・飯山日本画協会
(楓の会、信濃日本画院、あじさいの会、こぶしの会)
・飯山水墨画協会
(水墨会、椿の会、墨籙会、水曜会、すみれ会)
・飯山市華道会
(梶井宮御流、草月流〔2〕、池坊〔2〕)
・プリザーブドフラワー・リラ
・フラワーアレンジメント花*花

・千曲みずゑ会
・ちぎり絵グループ
・手芸サロン
・写楽会
・飯山市書道協会
・仏像彫刻
・墨悠会
・柳原陶芸クラブ
・パッチワークみゆき野
・花木クラブ
・サロン・ド・ライチ
・飯山和紙研究会
・武田仁守
・木内順一
・上野揮誠
・今清水重之
・村松和夫
・松澤芳宏



飯山市美術館

常設展示のご紹介

ご存知のとおり和紙は郷土の伝統工芸ですが、常設展示作品の中に和紙を素材とした作品があります。市内岡山地区出身の和紙作家・斎藤一郎さん(1938-)の作品です。

斎藤さんの和紙作品は、風景や静物画といった絵画という枠には当てはめることのできない作品です。しかし、作品の前に立つたとき無条件に美しいと感じるのは、人間の自然に対する根源的な憧れが起因しているのかも知れません。

機会がありましたら、郷土出身の和紙作家・斎藤一郎さんの作品を是非ご覧下さい。(お問い合わせは市美術館 Tel. 62-1501まで)

また、紙を漉く過程で水を空中から垂らすなど、水の予測不可能な動きによって生まれた和紙の表情を作品制作に積極的に取り入れています。

